

〈図画工作科〉 1年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・絵を描く、折る、切る、貼る技能の面で、個人差や経験差が非常に大きい。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・好きな色、好きな構図、好きな材料を使って造形活動を楽しんでいる。その一方、なかなか構想が浮かばず、友達作品を見たり教師の助言を聞いたりしながら進める児童もいる。
- ・「すごいね」と、素直に感想を口にすることができ、友達と作品を見せ合うことを楽しむ児童が多い。まだ具体的な感想を发表或し、描いたりできる児童は少ない。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・描くこと、作ることが好きな児童が多く、意欲的に絵や工作に取り組むことができる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・自由な発想をもとに考えることができるようにすることが課題である。
- ・手先の感覚を育て、身近な道具を使いこなせるようにしていく必要がある。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・発想や構想を広げたり、独創的な個性を伸ばしたりする作品づくりができるようにすることが課題である。
- ・友達や自分の作品の具体的なよさに気付くとともに、作品の新しいイメージを広げていくことが課題である。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・描くこと、作ること、見ることへの関心を高めることが課題である。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・身近にある材料を使わせ、それらに働きかけること、かかわることの楽しさを味わわせる
- ・材料を手にしながらか、形や色、手触り、重さなどを体感させることで、使い方や工夫の仕方を考えさせる。
- ・創作活動に取り組んでいる様子そのものを認め、思いのままに造形遊びをさせる。
- ・水彩絵の具、クレパス、色鉛筆、はさみ、のり、おりがみなど、道具の使い方を指導し、慣れさせる
- ・のりや化学接着剤、セロハンテープなど材料や活動に適した接着方法を助言する。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・具体的なイメージをもって活動に入れるよう、導入では材料の形や色などの美しさ、面白さ、不思議さなどに目を向けさせるようにする。
- ・扱いやすい材料を用意し、それらを並べる、つなぐ、積むなどの工夫を考えさせる。
- ・個々の児童の発想や工夫、構想のよさを電子黒板等で他の児童にも紹介し、共有できるようにする。
- ・廊下前の掲示板や、教室の後ろなど作品を展示する。定期的に作品を入れ替えることで、鑑賞への関心を高める。
- ・自分の作品で表したかったこと、伝えたいことを発表する場を設け、感想を交流する。
- ・友達作品を見て、一人一人の表現や思いに共感し、気づいたことや感じたことを聞き合える場を設定し、そのよさを認め合えるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・机の配置の仕方など、学習形態を工夫する。友達と関わり合う場を設け、思いついたことを共有したり共に行動したりする中で、表したいことを見つけられるようにしていく。
- ・一人一人が意欲的に活動できるよう、興味をもちやすく扱いやすく準備し易い材料を提示したり場の設定をしたりする。
- ・自分が思いついた表し方を試したり、自分なりのこだわりをもってじっくり取り組めたりできる時間を十分にとる。作品作りを楽しめる児童を育てる。
- ・仕上げた作品に対して、一人一人の表現や思いに共感し、工夫した点を評価する。